

# かがやき☆きただより 2018. 夏号

社会福祉法人かがやき神戸 北区事業所発行



〒651-1243

神戸市北区山田町下谷上

西丸山20-30

TEL 582-5544

発行責任者：松本 多仁子

ショートステイ開所から1年が経ちました。ありがとうございました。

「この日は利用できますか・・・?」「もう少し利用したいんだけど・・・。」これは、『ショートステイとまり木』に届く仲間・家族の声です。かがやき神戸では、『みんなの笑顔かがやきプラン2009』（かがやき神戸第二期将来構想）の長期目標にも掲げられていた計画の一つであったショートステイが、2017年6月に北区本施設敷地内の自然と緑に囲まれた場所に完成し、同年7月より本格的な事業開始となりました。早いものでそのショートステイも開所してちょうど1年が経ちます。この間、延べ1700名の方が利用されました。

開所当初は、あんなにもシミュレーションしたにもかかわらず失敗続きの職員たち。職員の緊張が伝わったのか、慣れない・寝れない・食べれない仲間たち。そんな中でも利用し続けてくれた仲間たち。またショートステイに送り出してくれた家族の皆さんに本当にありがとうございます。だからこそ、寝れなかった仲間が今では自分のリズムで過ごせるようになったり、食べれなかった仲間が食べれるようになったり、泊まれなかった仲間が泊まれるようになったり、お風呂に入れなかった仲間が入れるようにもなりました。仲間が、家族が「困ったときに・・・。」また、「緊急時に・・・。」受入対応ができたときには、そのひとつひとつの出来事に職員みんなが小さなガッツポーズを作り、改めてショートステイの重要性と自分たち職員の役割を実感してきました。

しかし、この一年間の『とまり木』の開所は、本来なら365日開所することが望ましい事業ながら、約260日にとどまりました。もっと利用したいと思う仲間と家族の想い。その想いに応えたいと思う職員の想いは、ことごとく制度の壁に阻まれました。『とまり木』の利用は、かがやき神戸の仲間だけではありません。最近では、近隣地域（4自治会）に在住の障害のある仲間たちの利用も少しずつ増えており、ニーズは拡大しています。だからこそ、「この日利用できますか・・・?」「もう少し利用したいんだけど・・・。」の声に向き合いながら、地域の中にある「困ったなあ～」にもこたえることができるような実践を目指し取り組んでいきたいと思っています。

『制度の壁』は、とてつもなく高い壁ですが、しっかりと向き合い創意工夫をしながら日々取り組んでいきたいと思っています。今後とも、引き続きの応援よろしく願いいたします。

（八幡 孝至）

こちらの絵は、週末にショートステイを利用した際に、とまり木の絵を倉掛さんが描いてくれました。



## 第 4 1 次 国 会 請 願 行 動 報 告

5月24日に第41次国会請願行動に参加するため、仲間の大前さんと東京都にある国会議員会館まで行ってきました。

初めての東京と国会議員の方にお会いするという事で大前さんと一緒に緊張しながらなんとか集合場所に到着。全国から来ている国会請願行動参加者の多さに圧倒されるとともに、心強く感じ少し緊張がほぐれました！

まず午前中は厚生労働省職員との懇談会に参加しました。私たちは各請願項目にそって現状を厚生労働省の職員へ話しました。自立支援法訴訟当事者の方が自身の現状や仲間の思いを訴え、各事業所の職員も自らの願いや国の施策についてを訴えました。

その中で私は少しだけですが地域活動支援センターの職員の立場から、障がいを持つ方にとって地域活動支援センターがなぜ必要であるのかを訴えました。時間の都合上、話す時間はあまりありませんでしたが、私たちの思いを厚生労働省の職員に伝えることができたのではないかと思います。

午後からは議員の部屋を周り、請願項目の説明や現場での現状を訴えました。直接、議員の方には話す機会もあれば、秘書の方が話を聞いてくれる場合もあり、中には応接室で時間をとって下さる方もいて、時間の許す限り自分たちの思いや願いを伝えました。

一緒に行った仲間の大前さんも元気にあいさつし、自分がどんな仕事をしているかを話してくれました。障がいを持つ仲間の頑張りが伝わったと思います。慣れない革靴で足が痛くなり疲れたと言っていた大前さん本当にお疲れ様でした。

今回の国会請願では緊張もあり普段思っていることをうまく発言できませんでした。次回、国会請願に参加する機会があれば今回よりも、もっと職員としての願いを発言できるようにしたいです。ただ、周りの皆さんにフォローしていただき、とてもいい経験になりました。

また、実際に署名を渡すところを見ることで、署名の大切さを知ることができました。機会があれば積極的に署名活動などに参加していきたいと思います。

(泰永 貴志)



国会請願行動の  
様子です

## わが街の頼れる社会福祉士さん～大庭 絵里さん～



今回は、社会福祉士やボランティアなどなど、いろんな顔をもって地域のためにご尽力くださっている大庭絵里さんにお話を伺いました。

### Q、この活動を始められたきっかけは？

「つくしんぼ共同作業所でボランティアをしているときに、福祉への興味が湧き、今日の活動へとつながっています。

地域での活動をする際にかがやき神戸が地域との基盤作りをしていることを感じます

『地域でなんでも相談をしたい』と思った時にくろーばあを場所を提供してくださったりと、この活動をする上でもお世話になります。」

### Q、普段の活動について教えてください

「毎月最終土曜日に“喫茶くろーばあ”で、うたごえ喫茶&なんでも相談コーナーを行っています。うたごえ喫茶では唱歌や童謡等を歌い、うたごえ喫茶終了後は地域の方同士でおしゃべりを楽しんでいただいています。

なんでも相談コーナーでは地域の方の色々な相談にお答えしています。介護の相談や病気の事、お家の事等本当になんでもお聞きしています。かがやき神戸の仲間の方がくることも時々あります。

相談に乗ることは、もちろん地域の皆さん

のためでもあるのですが、お話を伺うことを通じて、私自身にも学ばせていただくことが多く、今後も続けていけたら嬉しいなと思っています。あと、くろーばあで月に一回おしゃべりサロンも行っています。こちらも地域の方同士で仲良くおしゃべりをさせていただき集まりです。

これらとは別に、成年後見人としても活動をしています。」

### Q、地域の行事などにもご参加くださっていますね

「はい。毎年広陵小学校で行われる地域ふれあいまつりでも“なんでも相談コーナー”をしています。この相談コーナーでは社会福祉士をより多くの人に知ってもらう事を目的としています。

社会福祉士とは相談業務を専門とする職業で、相談を受けるだけでなく、地域のネットワークを作ることも活動の一つです。地域の皆さまに社会福祉士の事を知ってもらい、気軽に相談していただきたいと思います。」

さまざまな活動で地域のために活躍くださいながら、「私自信も学ぶところがある」と謙虚で優しい大庭さん。かがやき神戸の仲間も職員も日ごろから大変お世話になっております。これからもよろしくお願いします！

- 毎月最終の土曜日 10:30～ うたごえ喫茶 13:00～なんでも相談コーナー
- 毎月1回 おしゃべりサロン(開催日はお問い合わせください)

大口の  
アイスクリームに  
歯がしみる

(ひだまり 林真理子)



ナキソボト  
トモニアソング  
カイスイヨク

(つくしんぼ 尾浦浩二)



あじさいに  
したたり落ちる  
水の音

(つくしんぼ 青木康祐)



※かがやき神戸の利用者・職員から投稿された俳句の中から、選ばれた3作品です！

是非！ぜひ！

応援してください！

会の詳細、ご質問は、  
かがやき神戸職員まで、  
いつでもお気軽に！

あ・な・た・の・入会♪

「社会福祉法人かがやき神戸を支援する会」への入会のお願い

(年会費 1000円)

振込先：郵便振替 口座記号番号 00930-1-67354

加入者名 社会福祉法人かがやき神戸を支援する会



お待ちしております～♪

☆あなたの一口が障がい者の生活を支えます。「きょうされん」の賛助会員にも、ご協力下さい☆

(年会費 個人3000円 団体6000円)

振込先：郵便振替 口座記号番号 00970-3-250425

加入者名 きょうされん兵庫支部

かがやき神戸を支援する会では、会報誌「かがやき」(年4回)を、

きょうされんでは、会報誌「TOMO」(毎月)を作成し、会員の皆様にお届けしています。

— 編集後記 —

梅雨も明け、ジメジメした暑さから、カラっとした暑さへ変わり、なおの事汗が流れるようになりました。日中に畑で作業をしていると、そんなに動いたわけでもないのに汗が流れてきます。まだまだこれからが暑さの本番ですので、しっかり水分と塩分とミネラルを取って、暑さ対策万全で乗り越えていきたいですね。(河石)